

# 白岡町洪水ハザードマップを配布します

国土交通省は、荒川及び利根川が200年に1回程度発生する大雨により河川がはん濫した場合に想定される区域を洪水想定区域として指定し、その区域と浸水の深さを公表しました。

この洪水想定区域に含まれている市町村は、浸水区域、浸水の深さ、洪水予報等の伝達方法など避難に役立つ情報を記載した洪水ハザードマップを作成し、広く住民にお知らせしなければなりません。このたび、この洪水ハザードマップを作成しましたので、広報4月号と併せて全戸配布します。



## 洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップは、洪水時の人的被害を防ぐことを主な目的として作成するため、住民にわかりやすく浸水の情報及び避難に関する情報を掲載することが重要とされています。

このため、当町において被害が大きくなると想定される荒川を大きく表示し、利根川は、避難に関する情報等と併せて小さく表示しています。

## 注意する点は？

このマップに示した洪水想定区域と実際に洪水が発生した場合は、雨の量や堤防の決壊地点などが必ず一致するとは限らないため、実際の洪水時の浸水区域や浸水の深さがこのマップと同じになるとは限りませんので、注意してください。

土地区画整理事業地内の浸水区域や浸水の深さは、計算数値が、事業の進捗等により変わるため、このマップと同じになるとは限りませんので、注意してください。

荒川及び利根川以外の河川のはん濫や内水によるはん濫（雨水が河川に排水できなくて生じる浸水）などは考慮していません。

## 見方・使い方について

いざというときのために、地図の中に自分の家や職場等の日常生活の場所をしるし、その付近の浸水の深さ、安全に避難できる施設や避難場所までの経路を確認しておきましょう。

水害の恐れのあるときには、町から避難勧告や避難指示が出されますので、この地図を参考にして速やかに避難してください。

家族の連絡先や連絡方法を書き込んで、使いやすい場所に保管しておきましょう。

問合せ 町民活動推進課 防災担当

内線354・355